

「人材育成」と「スキルアップ」キックオフ研修

『障害者問題とは何か』

～相談支援専門員に求められる「価値」「知識」「技術」～

障害者の抱えるさまざまな「生きづらさ」を仮に「障害者問題」と呼ぶとするなら、この「障害者問題」はいったい誰によってどのようにつくられるものなのでしょうか。また、その問題の解決にあたっては、誰がどのような責任を担うべきなのでしょうか。＜社会モデル＞という考え方をもとに、この「障害者問題」について考えます。（『北星学園大学社会福祉学部 地域社会貢献事業 講師派遣のご案内』より）

あわせて、北海道自立支援協議会人材育成部会が、主として相談支援専門員等を念頭におきながら、「価値」「知識」「技術」の3つの要素で示した「求められる人材像」（参考資料）について、人材育成部会の委員でもある、田中耕一郎先生にお話いただきます。

後半では、前半の講義を受けて、相談員の人材育成やスキルアップのための研修を考えるグループワークを行います。

日時 平成27年1月28日（水） 14時～17時 （受付13時30分から）

会場 札幌市役所12階会議室1～3号

対象者 札幌市障がい者相談支援事業の委託を受けている事業所に所属している方

参加費 無料

内容

14:00～15:30 講義「障害者問題とは何か」

～相談支援専門員に求められる「価値」「知識」「技術」～

北星学園大学福祉臨床学科教授 田中 耕一郎 氏

15:45～17:00 グループワーク「相談員の人材育成・スキルアップのための研修を考える」

申込方法

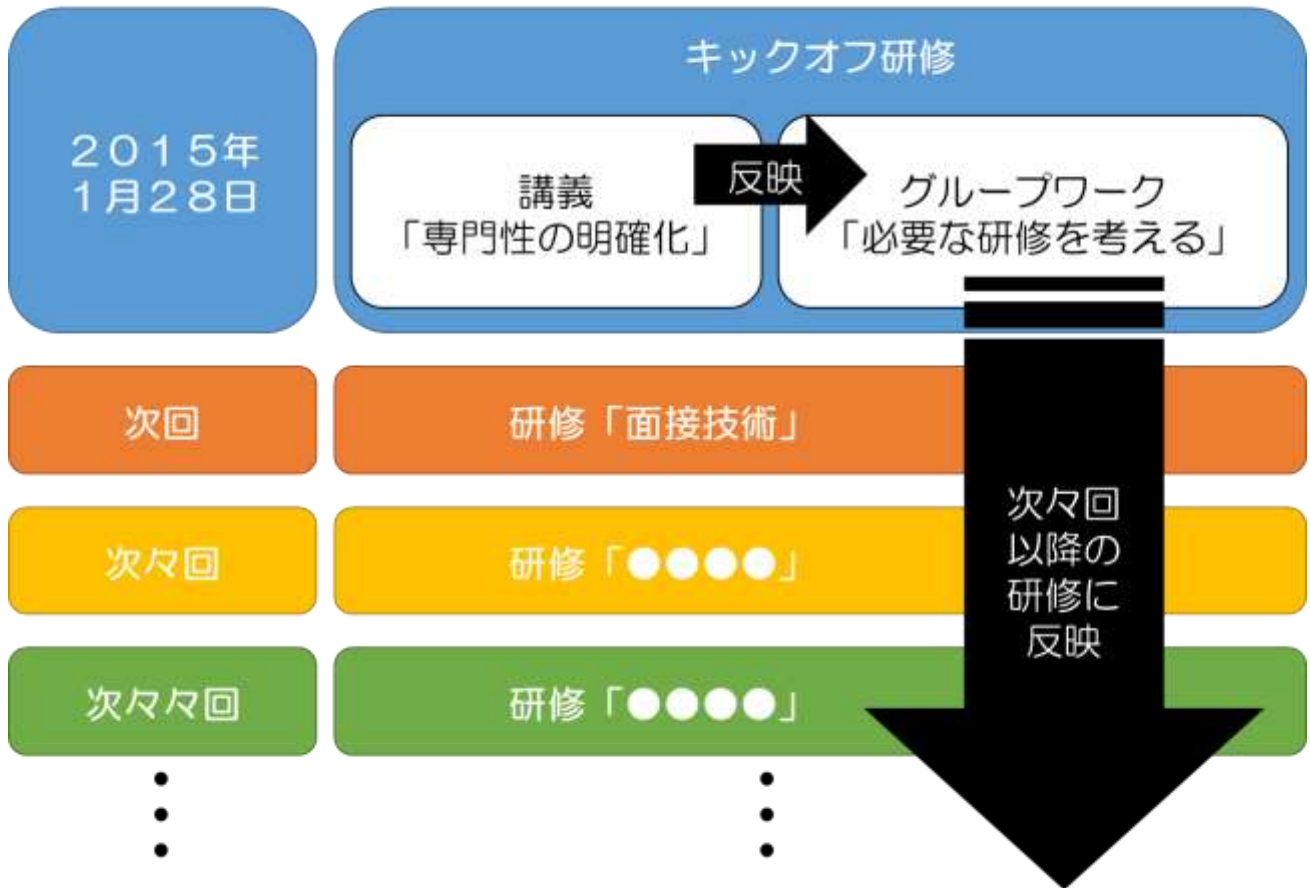
添付の申込用紙に必要事項を記載の上、1月9日（金）までにメールにてお申込ください

申込先メールアドレス one-all@amu.or.jp

主催 さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール（札幌市基幹相談支援センター）

この研修は、「北星学園大学社会福祉学部地域社会貢献事業」のご協力をいただいて開催致します。

「人材育成」と「スキルアップ」研修の構造



「専門性の明確化」については、札幌市独自で検討を行うことよりも、北海道自立支援協議会人材育成部会がまとめた「北海道における障害福祉サービスに従事する人材の育成のあり方」で、求められる人材像について「価値」「知識」「技術」の3つの要素で整理されています。北海道での人材育成の基本となるものなので、「専門性の明確化」については、これを活用することが適当と考えます。

「人材育成」と「スキルアップ」については、「価値」「知識」「技術」の各項目のうち、既存の研修では比較的対応が難しいテーマについての研修を実施していきます。昨年度、ワン・オールが各委託相談支援事業所から頂いた意見を整理すると、「面接技術」や「スーパーバイズ」をテーマとした研修の実施が必要と推察されます。ただし、「スーパーバイズ」については、次年度以降、相談支援従事者研修の『専門コース別研修』で実施される可能性があり、今回は「面接技術」の研修の実施を予定しています。次々回以降の研修については、「スーパーバイズ」又は、今回の研修のグループワークで考えられるテーマを基に研修を実施していく予定です。

今回の「キックオフ研修」は、今後の研修実施にあたってのスタートラインとなるものです。

「北海道における障害福祉サービスに従事する人材の育成のあり方」より抜粋
 (北海道自立支援協議会人材育成部会(平成26年11月))

第1 求められる人材像

求められる人材像について、次のとおり「価値」、「知識」、「技術」の3つの要素で示すこととした。

主として、相談支援専門員とサービス管理責任者を念頭においているが、他の障害福祉サービス従事者にも、内容に応じて広く適用されることを想定している。

(1) 価値

- 本人中心の価値

自己決定と選択(個の主体としての自立)

- 人権をめぐる価値

人間存在の基本価値(人としての尊厳と人権の尊重)、中立・公平の立場と本人の権利擁護者としての関係性、絶対的平等

- 職業倫理

ソーシャルワーカーとしての倫理

(2) 知識

- 対象理解に関する知識

障がいの概念・特性、ICF、児童発達に関する知識

- 障がい者の歴史的な処遇、実態

社会政策と法制度と施策、権利侵害、関連法制度(障害者総合支援法の理解と運営基準)、障害福祉サービス、障がい者福祉・教育関連の制度

- 地域特性に関する知識

北海道の地域特性

- フォーマル・インフォーマルな社会資源に関する知識

関係機関の役割

- 各種援助理論や援助技術に関する知識

SW援助技術(各種方法論)の概要

(3) 技術

- 想像力

利用者の生活全体を捉え、その思いを察知し、微かな変化をも感知する力

- 情報収集力

利用者・家族・関係者の話や記録から必要な情報を収集する力

- 分析力

主訴やニーズ、現状の構成要素、利用者の環境的課題(地域課題)等をアセスメントする力

- 創造力

支援に必要なアイデアや仕組みを発想できる力

- 対話力
利用者の思いを引き出すコミュニケーション力、相談スキル（アサーティブ）
- 関係形成力
利用者・関係者と信頼関係を構築する力
- 交渉力
利用者のニーズに即応するために関係機関とかけあう力
- 調整力
複数の課題や関係機関の特性を理解し的確な役割を割り振り、連携を生み出す力
- 説明力
利用者のニーズや思い、地域課題等を分かりやすく伝える力
- 計画力
利用者主体に基づき、支援に必要な時間・優先課題を見立て、目標を計画的に遂行管理しつつ実現する力
- 推進力
積極的に事態を動かし、利用者・関係機関を促していく力
- 評価力
地域課題や、支援の総過程をトータルに評価できる力
- SW 援助技術
各種援助方法、質の高いQOL への支援
- 指導力
後輩に対して、的確にスーパーバイズできる力
- 社会資源開発力
新たな資源づくり、現状の社会資源の使い方などの開発できる力

相談支援従事者の資質の向上を目的に、平成19年度から北海道自立支援協議会に研修専門部会を設置し、相談支援従事者の研修内容や体制整備について協議を行ってきたが、障がいがあっても安心して暮らせる地域づくりを推進するために重要な役割を担う、幅広い人材の育成のあり方について検討するため、平成25年度に研修専門部会を人材育成部会に改めて、北海道における障がい保健福祉に関わる人材育成のあり方について検討した